

今月の経済動向 (2018年12月)

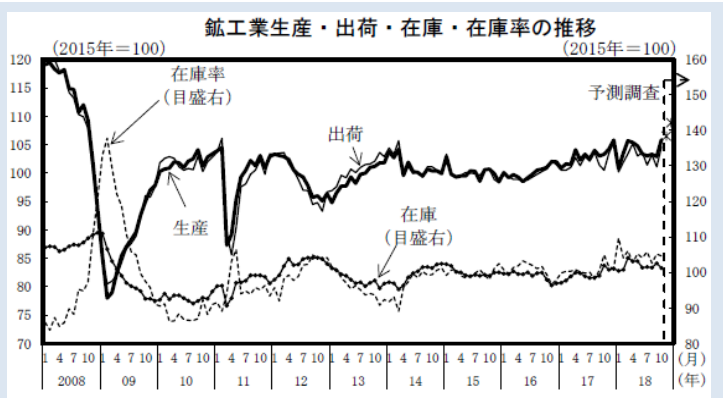
● 月例経済報告 (12/20)

<p><b>基調判断</b></p>	<p>(12月) 景気は、緩やかに回復している。 先行きについては、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、通商問題の動向が世界経済に与える影響や、海外経済の不確実性、金融資本市場の変動の影響等に留意する必要がある。</p> <p>(11月) 景気は、緩やかに回復している。 先行きについては、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、通商問題の動向が世界経済に与える影響や、海外経済の不確実性、金融資本市場の変動の影響等に留意する必要がある。</p>
<p><b>個人消費</b></p>	<p>(12月) 持ち直している。</p> <p>(11月) 持ち直している。</p> <div data-bbox="699 472 1362 869"> <p style="text-align: center;"><b>消費総合指数と実質総雇用者所得</b></p> </div>
<p><b>設備投資</b></p>	<p>(12月) 増加している。</p> <p>(11月) 増加している。</p> <div data-bbox="708 882 1353 1263"> <p style="text-align: center;"><b>製造業・非製造業の設備投資 (実質)</b></p> </div>
<p><b>住宅建設</b></p>	<p>(12月) おおむね横ばいとなっている。</p> <p>(11月) おおむね横ばいとなっている。</p> <div data-bbox="708 1292 1347 1673"> <p style="text-align: center;"><b>住宅着工戸数 (季節調整値)</b></p> </div>
<p><b>雇用情勢</b></p>	<p>(12月) 着実に改善している。</p> <p>(11月) 着実に改善している。</p> <div data-bbox="708 1695 1353 2089"> <p style="text-align: center;"><b>雇用者数、就業者数の推移</b></p> </div>

**生産**

(12月) 緩やかに増加している。

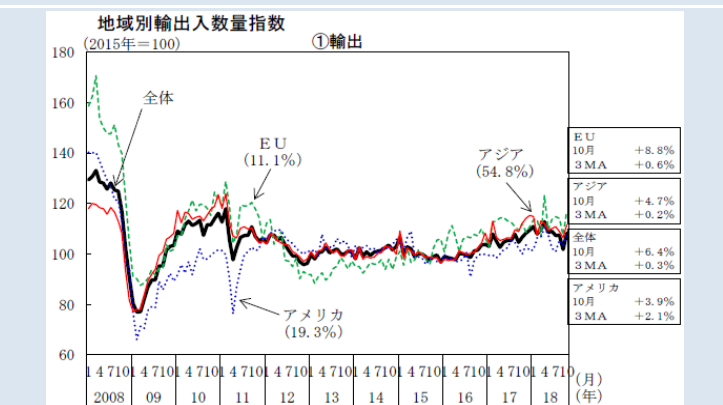
(11月) 緩やかに増加している。



**輸出**

(12月) おおむね横ばいとなっている。

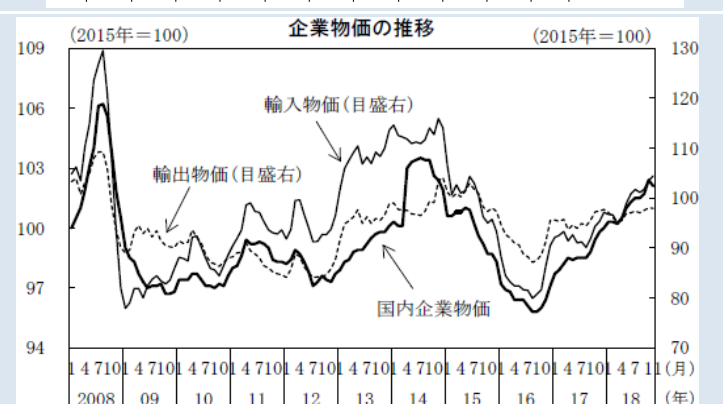
(11月) おおむね横ばいとなっている。



**国内企業物価**

(12月) このところ上昇テンポが鈍化している。

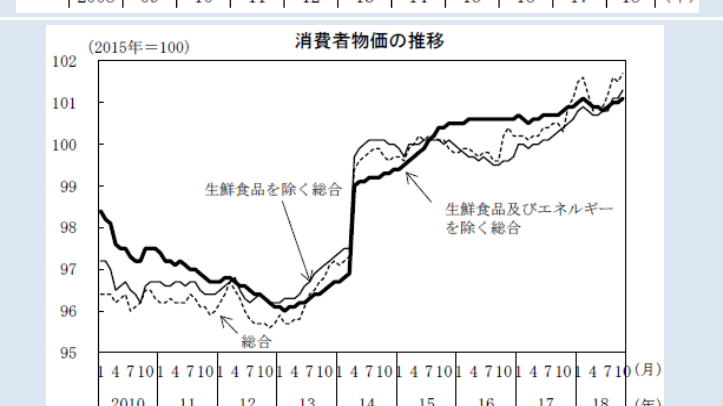
(11月) 緩やかに上昇している。



**消費者物価**

(12月) このところ上昇テンポが鈍化している。

(11月) このところ上昇テンポが鈍化している。



**海外経済**

(12月) 世界の景気は、緩やかに回復している。先行きについては、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、通商問題の動向及び影響、中国を始めアジア新興国等の経済の先行き、政策に関する不確実性による影響、金融資本市場の変動の影響について留意する必要がある。

(11月) 世界の景気は、緩やかに回復している。先行きについては、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、通商問題の動向及び影響、中国を始めアジア新興国等の経済の先行き、政策に関する不確実性による影響、通商問題の動向、金融資本市場の変動の影響等について留意する必要がある。

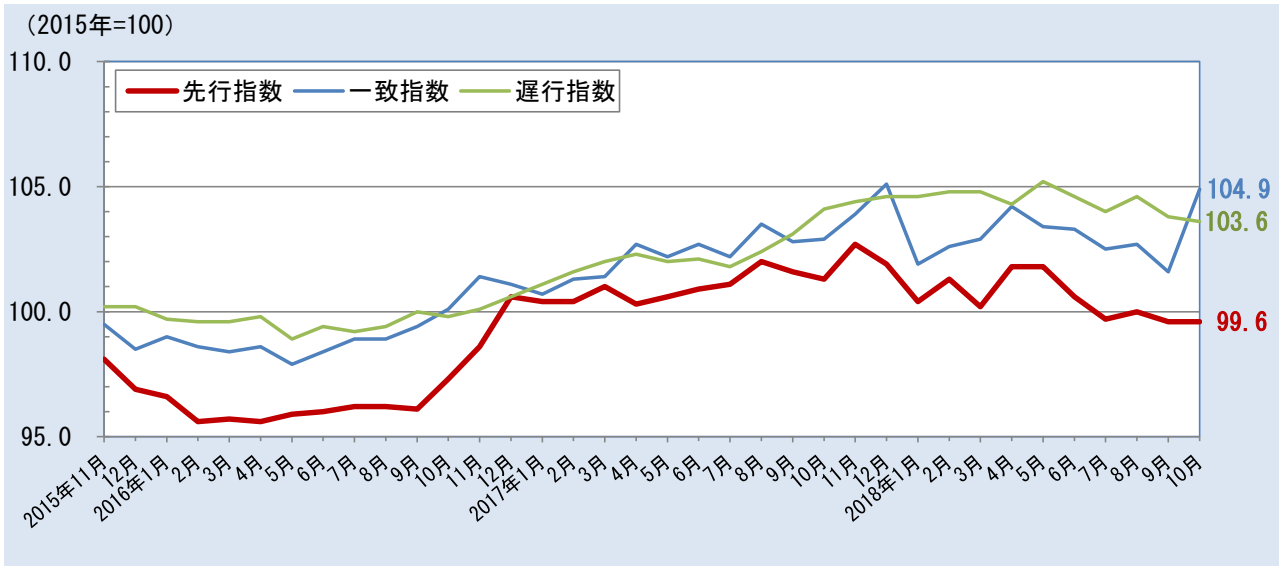
[月例経済報告：内閣府](#)

● 景気動向指数（2018年10月・改訂値）

2018年10月のCI一致指数（改訂値）は前月より3.3ポイント高い104.9ポイントとなり、2か月ぶりの上昇となった。3か月後方移動平均は前月より0.80ポイント高い103.1ポイントとなり、4か月ぶりの上昇となった。7か月後方移動平均は前月より0.29ポイント高い103.2ポイントとなり、2か月ぶりの上昇となった。

CI先行指数は前月より0.0ポイント高い99.6ポイント、遅行指数は前月より0.2ポイント低い103.6ポイントとなった。  
 景気の基調判断（CI一致指数）は、「足踏みを示している」を据え置いた。

※CIの数値は、一致・先行・遅行指数とも全期間で遡及改訂。（前月との比較は、遡及改訂後の数値による）



[景気動向指数：内閣府](#)